



基調講演



看取り事例



パネルディスカッション

## 鳥羽で最期まで暮らそう③ 市民公開講座の報告

在宅医療・介護連携会議(健康福祉課内) ☎(25)1182

2月21日に「ここまでできる鳥羽の在宅医療」をテーマに市民公開講座を開催しました。

今回は、自宅で可能な限り暮らされたかたを例に、その時の本人や家族の状況・支援内容をご紹介します。

### 事例紹介

Aさんは妻と二人暮らし。肺気腫・肺がん末期・脳梗塞片麻痺・糖尿病・膠原病で、在宅酸素療法・インシュリン自己注射を行っていました。普段から発熱・息切れが激しい状態でした。

Aさんと妻は、延命を希望せず、いかなる状態になっても、海の見える自宅で生活したいとケアマネジャーに伝えていました。

そのため、自宅に主治医・訪問看護師、その他介護サービス事業所職員が集まり、Aさん・妻の希望をお聴きしながら、どのような支援を行ったらよいか話し合い、サービスを提供しました。提供したサービス内容は下図のとおりです。

その後、Aさんは容態が悪化し救急搬送され入院しまし

た。積極的な治療はせず、入院し2か月が経とうとした頃、安らかにお亡くなりになりました。

### 看取るとういこと

Aさん・妻は、自宅で最期を迎えることを希望していましたが、最終的には病院で最期を迎えられました。しかし、この過程には、長年夫を支えてきた妻のさまざまな想いやその時のAさんの気持ち・身体状況も影響します。

さまざまな看取りがありますが、本人の尊厳を保ち、本人なりに充実し納得して生き抜いたと感ずることが大切だと思います。

誰でもいつかは最期を迎えます。その時に自分はどうしたいかということや普段から家族と話し合うことも必要ではないでしょうか。



市民公開講座の風景

### 1週間の医療・介護サービス

とき	月	火	水	木	金	土	日
午前	訪問看護(リハビリ)	通所リハビリ	訪問看護(看護)	訪問看護(入浴)	通所リハビリ		
午後							
福祉用具レンタル	歩行器・車椅子						
主治医	病状の管理、状態に応じて往診						
妻	立ち上がりの支援、身の回りの世話						

### 本人・妻と話し合った医療・介護サービス

病状の管理をします。必要に応じ往診もしますね。



主治医

先生の指示でバイタルチェック、症状の管理、病気の相談に応じます。



訪問看護師

能力が低下しないよう自宅でリハビリをしましょう。



作業療法士

安心して入浴できるようにお手伝いします！



ホームヘルパー

日中は施設でリハビリや友人との交流を持ちましょう。



通所介護員

このチームでAさんを支援していきます！



ケアマネジャー